

# 2019年3月期 第1四半期決算説明資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

財務IR部 IRグループ

TEL: 03-3248-2167

E-mail: [irinfo@nichirei.co.jp](mailto:irinfo@nichirei.co.jp)

URL : <https://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

単位：億円

	第1四半期				通期		
	実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比	
		増減	率			増減	率
加工食品	560	-10	-2%	24%	2,290	83	4%
水産	167	-2	-1%	22%	750	35	5%
畜産	226	10	5%	25%	920	16	2%
低温物流	488	24	5%	24%	2,000	49	3%
不動産	12	-0	-1%	25%	48	-1	-1%
その他	11	2	17%	20%	57	4	7%
調整額	-50	-1	-	-	-205	-6	-
<b>売上高合計</b>	<b>1,413</b>	23	2%	24%	<b>5,860</b>	180	3%
加工食品	33	-12	-26%	22%	150	4	3%
水産	0	-1	-79%	3%	7	4	129%
畜産	3	-0	-1%	24%	14	1	8%
低温物流	27	0	0%	23%	115	2	2%
不動産	5	-0	-2%	24%	22	0	2%
その他	1	-0	-29%	9%	8	-0	-1%
調整額	-3	-0	-	-	-6	-1	-
<b>営業利益合計</b>	<b>66</b>	-13	-17%	21%	<b>310</b>	11	4%
<b>経常利益</b>	<b>69</b>	-12	-15%	22%	<b>310</b>	3	1%
<b>当期純利益</b>	<b>46</b>	-4	-8%	23%	<b>198</b>	7	4%

為替レート	2018年度 見込	2018年度 1Q実績	2017年度 1Q実績
米ドル/円	108.00	108.30	113.64
ユーロ/円	130.00	133.23	121.08
パーツ/円	3.45	3.43	3.24

注：①当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指しております。

②為替レートの実績は1月～3月の期中平均で算出しております。

- 1.売上高は、加工食品は前期大幅増収の反動があったものの、低温物流や畜産が順調に推移し2%の増収。
- 2.営業利益は、加工食品の減益が響き全体で17%の減益となったが、2Q以降も経営施策を着実に進め通期計画の達成を図る。
- 3.通期見込は5月8日に発表した数値から変更していない。

単位：億円

		第1四半期				通期		
		実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比	
			増減	率			増減	率
加工食品	売上高 計	560	-10	-2%	24%	2,290	83	4%
	家庭用調理品	146	12	9%	24%	598	26	5%
	業務用調理品	246	-14	-5%	24%	1,017	44	4%
	農産加工品	49	0	0%	24%	200	6	3%
	海外	77	-6	-7%	25%	311	6	2%
	その他	42	-3	-6%	26%	164	1	1%
	営業利益	33	-12	-26%	22%	150	4	3%

- 家庭用調理品は「本格炒め炒飯」や「特から」など主力商品の販売が伸長し増収。今後も商品力の強化に加え、「切れてる！サラダチキン」などで新たな需要を創造する。
  - 業務用調理品は前期の大手ユーザー向け取扱い拡大の反動により減収。引き続き需要が堅調な中食ルート向けに主力のチキン加工品の取扱い拡大を図る。
  - 海外では米国のイノバジアン・クイジーン社は減収となったが、2Q以降、既存品の販路拡大や個食向け新商品の投入などにより増収を確保する。
- 営業利益はパーツ高やタイにおける鶏副産物の販売価格下落などが響き減益。上期までは影響が残るが、6月末時点ではパーツ高は一服し鶏副産物相場も持ち直しの動き。
  - 今後は家庭用の主力商品の拡販や業務用の回復に加え、生産性改善やコスト低減などにより通期計画の達成を図る。

単位：億円

		第1四半期				通期		
		実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比	
			増減	率			増減	率
低温 物流	売上高計	488	24	5%	24%	2,000	49	3%
	国内小計	390	11	3%	25%	1,563	21	1%
	物流ネットワーク	228	6	3%	25%	914	9	1%
	地域保管	162	6	4%	25%	649	12	2%
	海外	92	13	16%	25%	374	21	6%
	その他・共通	5	-0	-3%	8%	63	8	14%
	営業利益計	27	0	0%	23%	115	2	2%
	国内小計	26	-2	-6%	24%	105	2	2%
	物流ネットワーク	9	0	4%	25%	37	1	2%
	地域保管	16	-2	-10%	24%	68	1	2%
	海外	2	0	7%	19%	11	1	8%
その他・共通	-1	2	-	-	-1	-0	-	

## 1.国内

- ・平和島DCなどの大都市圏をはじめ、旺盛な保管需要を背景に地方エリアにおいても集荷が進み増収。
- ・営業利益は前期を下回ったが計画通り進捗しており、集荷拡大や適正料金の収受に加え、業務効率化などコスト吸収策の実施により計画達成を見込む。

## 2.海外

オランダのチキン在庫減少の影響は残るものの、輸配送業務が好調に推移したことや果汁の取扱い物量が拡大し増収・増益。

# 水産はエビが改善、畜産は順調に推移

単位：億円

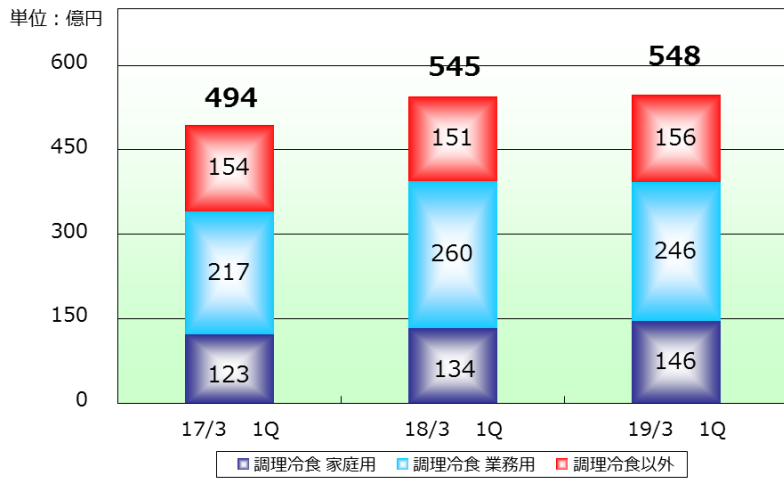
		第1四半期				通期		
		実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比	
			増減	率			増減	率
水産	売上高	167	-2	-1%	22%	750	35	5%
	営業利益	0	-1	-79%	3%	7	4	129%
畜産	売上高	226	10	5%	25%	920	16	2%
	営業利益	3	-0	-1%	24%	14	1	8%

- 1.水産は、魚卵類やタコの販売価格が上昇し売上げは前期並みを確保。  
営業利益は減益となったが、エビの利益率が改善するなど計画線上で推移。
- 2.畜産は、中食や外食向けの取扱いが伸長した加工品が貢献し増収。  
営業利益は前期並みを確保し、通期見込に向けて計画通り進捗。

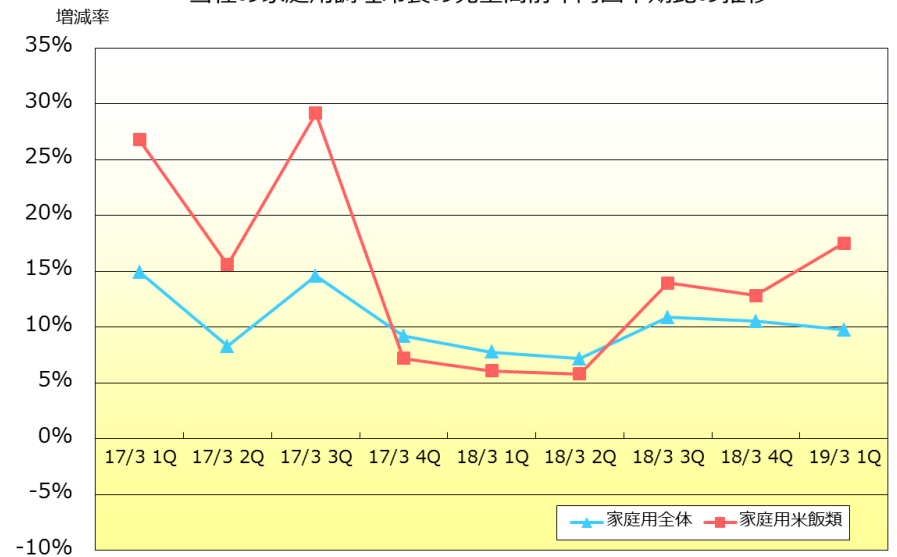
# 参考資料

### 当社の国内冷凍食品売上高の推移

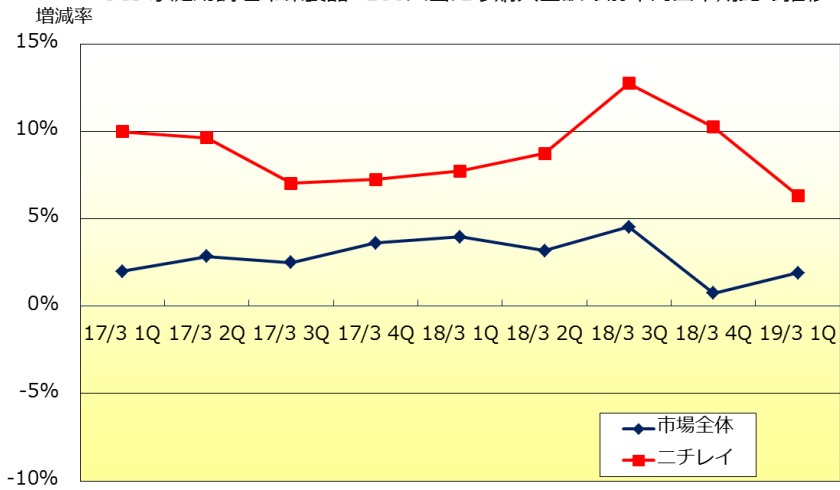
(日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)



### 当社の家庭用調理冷食の売上高前年同四半期比の推移

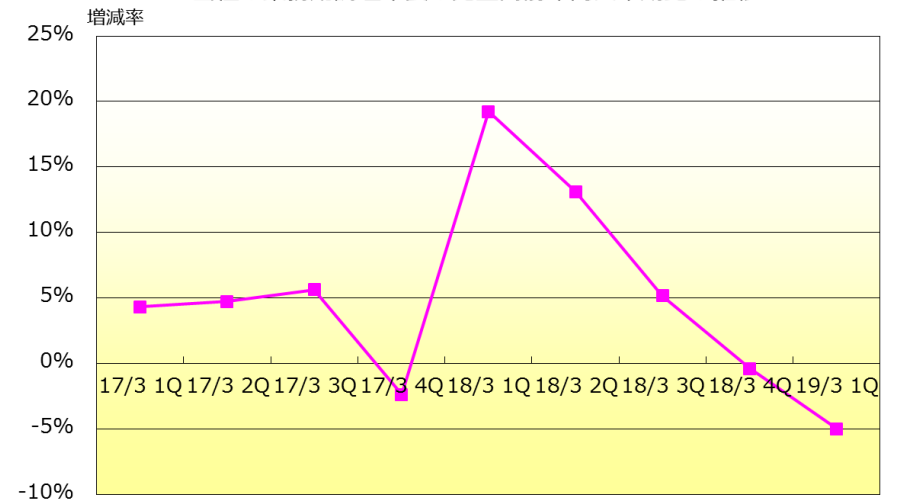


### SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年同四半期比の推移



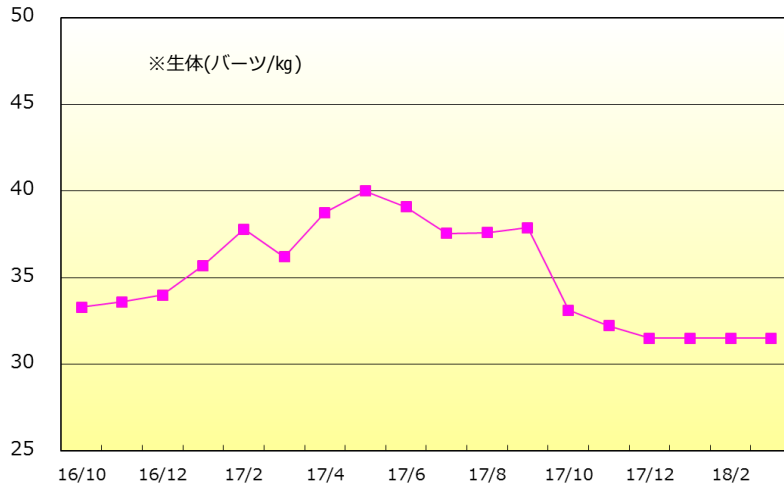
出典：インテージSCI（冷凍調理 100人当たり購入金額の前年同四半期比。購入ルート＝牛協店舗を含む）

### 当社の業務用調理冷食の売上高前年同四半期比の推移



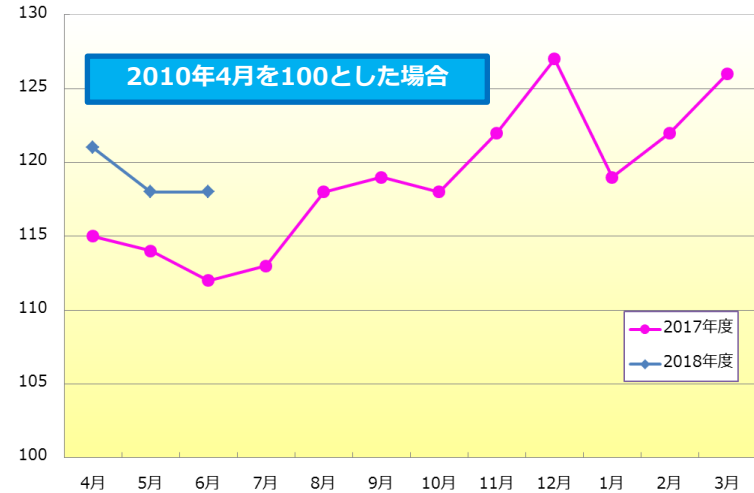
タイ国内鶏肉卸売価格の推移

単位：パーツ



出典：(独)農畜産業振興機構 (alic) 発表のデータを当社が加工

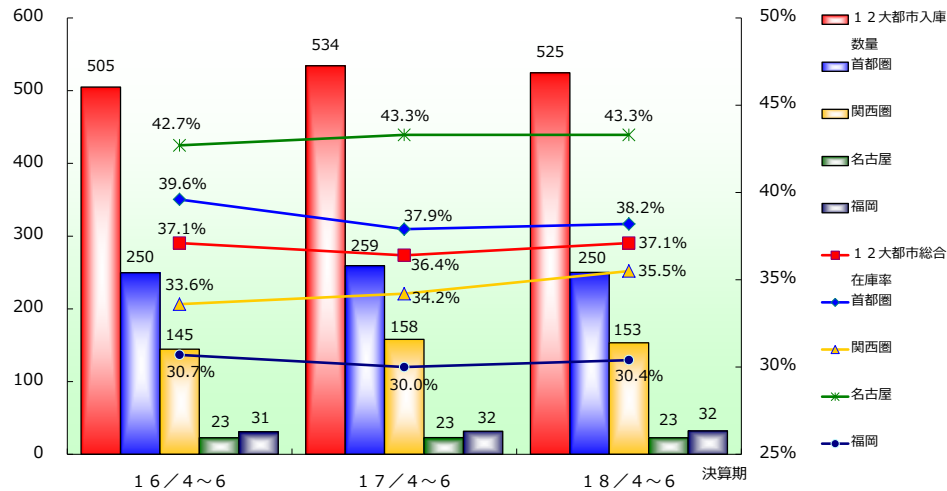
成約運賃指数(月別)の推移



出典：(社)全日本トラック協会発表のデータを当社が加工。常温を含む全温度帯が対象

ニチレイグループの冷蔵倉庫稼働状況

一般保管入庫数量：千屯



注：在庫率とは冷蔵庫内の全スペースにおいて貨物が占める割合を指す。スペースには通路や作業空間などの荷物が置けない空間が通常半分程度含まれる



## 当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果

など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。